

1位山形、2位青森、3位島根 '87CMSCチャレンジカップ1~8月集計結果



全日本ラリー選手権シリーズ第7戦、モンレー-87で5位入賞のCMSC青森・大西選手の走り。



'87CMSCチャレンジカップの1~8月の集計が出た。クラブ別ポイントでは山形の225点だが、これは小川選手の東北ラリーチャンピオン、小野、蜂谷選手のダートラ戦での活躍によるもの。青森の164点が続く。これは大西/永沢組の全日本ラリー選手権シリーズでの入賞、東北ラリーチャンピオン・シリーズ第3戦での館山/永沢組の優勝、福士/葛西組の東北第2戦入賞などに負うところが大きい。次いで島根、帯広、栃木だが、これは次ページの各支部からの報告にあるように、各地に新しいダートトライアルコースが誕生して各種大会が開催されているが、それへの積極的な参加によるもの。残念ながら東北ラリーチャンピオン・シリーズは中止になってしまったが、9~11月は各地での競技会も目白押し、まだまだ最終結果は予測出来ないようだ。



日本海ダートラシリーズで活躍するCMSC島根・国谷選手。



ラリーだけではなくレールでの善戦が目立つCMSC山形・小川選手。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5	6~8	9~11	12	合計
帯広	62	40			102
札幌	0	49			49
青森	60	104			164
岩手	32	0			32
山形	125	100			225
仙台	2	0			2
福島	38	22			60
栃木	26	74			100
群馬	11	3			14
埼玉	10	0			10
岐阜	9	34			43
島根	71	68			139
香川	41	0			41

●ラリー部門 ドライバー

大西 康弘	青森	70
館山 正嗣	青森	64
小川日出生	山形	56
高橋 光男	福島	42
千田 俊二	札幌	40
福士 文秀	青森	22
武蔵 秀雄	岩手	16
菅野 茂	山形	12
菅野 茂	福島	10
工藤 清人	青森	8

●ラリー部門 ナビゲーター

永沢 裕之	青森	64
吉田 東悦	福島	42
葛西 一省	青森	22
村山 豊	山形	12
佐藤 忠宣	福島	10
石井 隆夫	青森	6
中村 洋次	帯広	5

●スラローム部門

国谷 益雄	島根	54
井馬 隆之	帯広	50
小野 馨	山形	42
川俣 豊一	栃木	41
白井 修	香川	41
杉坂 啓一	島根	40
富樫 昭彦	帯広	36
蜂谷 重則	山形	34
菅野 茂	山形	27
郡司 義光	栃木	26

●レース部門

小川日出生	山形	24
栗田 律雄	岩手	10
蒲原 芽里	埼玉	10
佐藤 孝寿	仙台	2
上泉 晃祥	福島	2
松本 久雄	栃木	2
荒井 信介	群馬	2

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
ポイント B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A=ラリー………全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
スラローム………全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMSシリーズ
レース………全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
B=それ以外の競技会

リタイアには予選不通過も含む

CMSC岩手

第3回岩手三菱ダイヤモンドトライアル 岩手県ダートトライアルシリーズ第3戦
7月5日(日) 岩手県盛岡市雫石特設コース

ダートラ日和に恵まれて、シリーズ第3戦白熱

当初は参加申込みが少なく、大会開催に一抹の不安を感じさせた「第3回岩手ダイヤモンドトライアル」でしたが、関係者の努力もあって63台とまずまずのエントリー台数になりました。スタッフのほとんどは、会場設営のため前夜から泊まり込みでしたが、おかげで前夜祭も一段と盛り上がったものになりました。

大会当日は午前中から晴になり、絶好のコンディションでした。コースは雫石地区の特設会場で、1周約1kmで所要タイムは1分15秒前後の設定です。シリーズ戦ということもあって、シリーズポイントを目指して各選手とも白熱した走りを見せてくれました。

中でも、秋田県からエントリーしたC-1クラスの加藤正美選手は、ハッスルのしすぎで1回目に大転倒してしまいましたが、2回目には実力を発揮してクラス2位に入りました。予定したタイムスケジュールを完全にこなすことが出来て、狂前には結果の暫定発表という早さでした。クラブ員の大会を盛り上げる努力に感謝。CMSC岩手の団結もますます強固になったと思います。

ちょっと残念なのは、例年この「三菱ダイヤモンド」はラリーとトライアルと、年に2回大会があるのですが、今年は諸々の事情もあってトライアルのみになったことです。

(CMSC岩手 吉清水真子)



審査委員長はおなじみ藤村氏。

CMSC栃木

'87スリーダイヤモンド・トライアル 1987栃木県ダートトライアルシリーズ第3戦
7月12日(日) 日光スピードパーク

新コースが誕生、盛会でした



各地にトライアルコースが誕生しているニュースを聞きますが、栃木県にも今回の開催場所となった「日光スピードパーク」が誕生しました。今市インターから約10分のところにあり、舗装したジムカーナ場を取り巻く外周がダートコースになっています。

コースは1周800mと短いので、今回は2周するコース設定。短いなりにテクニカルなところ、スピードののるところと、変化に富んでいて面白いコースです。参加は159台とこれまでに多く、オフィシャルを務めたクラブ員は大変でした。

三菱車の参加はB3クラスに10台、C2クラスに2台でした。スタリオンとランサーで、コルディアの参加がなかったことに後で気が付きました。三菱賞の第1位は黒川直行選手(スタリオン・B2クラス)、2位は天堤忠次選手(ランサー改・C2)、3位は吉田取選手(ランサー・B3)でした。このシリーズも残り2戦、上位に入賞し、チャレンジカップの上位も目指したいと思います。また、グループAにも第3戦からエントリーしていますがセッティングが煮詰っていないので第4戦からと思っています。応援してください。

(CMSC栃木 明田 俊英)

CMSC香川

'87CMSCアストロトライアル 四国ダートトライアルシリーズ第7戦
7月26日(日) 香川県志度町香川スポーツランド

変化に富んだコース設定が好評

CMSC香川市例の87CMSCアストロトライアルを開催。今回のコースは前半が3速全開の高速コース、後半がパイロンによるテクニカルコースと、コース設定に変化をもたせました。参加台数は74台でした。炎天にもかかわらず大勢のギャラリーの観戦があり、盛大な大会になりました。

三菱勢はB-2クラスに2台、C-2クラスに1台と、ちょっとさみしいエントリーでした。トラブルもなく午後3時には競技を終了、日のあるうちに表彰式を行いました。三菱賞にはC-2クラスの藤原政彦ランサーが1位に、B-2クラスの香川俊哉ランサーが2位、同じくB-2クラスの三谷悦宣ランサーが3位になりました。

今回は、コース設定、賞品ともエントリーに好評でした。盛会のうちに大会を終了す

ることができたのも、35°Cを越える熱さのなかで埃まみれになりながら頑張ってくれたクラブ員の努力あってのもの。ご苦労さまでした。また本部の方々には、さまざまなご援助をいただき感謝にたえません。この場を借りて御礼申し上げます。今後も楽しいイベントを開催したいと思っています。

(CMSC香川 菅野仁司)



三菱賞第1位・藤原政彦選手。



三菱賞第2位・香川俊哉選手。



三菱賞第3位・三谷悦宣選手。